

令和8年度 国立大学法人 九州工業大学

総合型選抜

予測不可能なこの時代に可能性を切り拓く
“未来の自分”をデザインする入試



受験スケジュール

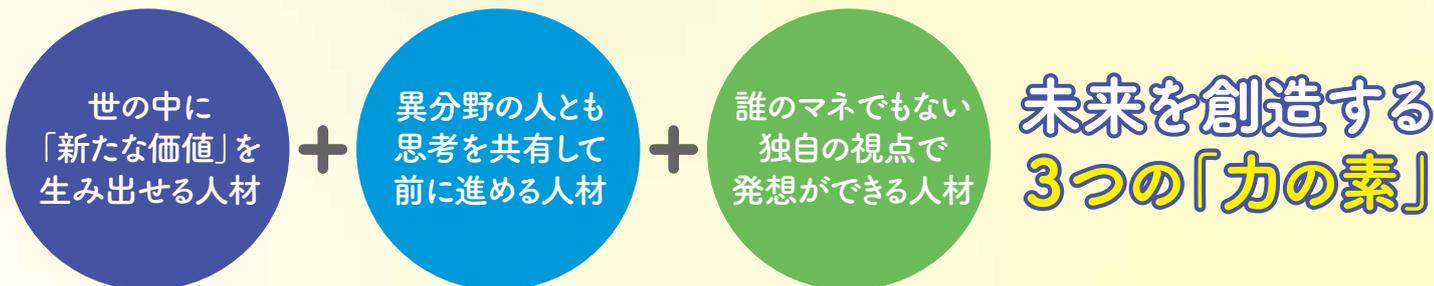
	9月上旬	9月中旬	10月上旬	10月中旬	11月上旬	12月上旬～3月末	4月
総合Ⅰ	出願	第1段階選抜 (戸畑・大阪)	第1段階 合格発表	第2段階選抜 (戸畑)	合格発表	入学前教育	入学
	<提出書類> ●調査書	●レポート ●課題解決型記述問題 ●適性検査(数学・理科・英語)				●学びの計画書 ●グループワーク ●個人面接	
総合Ⅱ		12月中旬	12月下旬	1月中旬	1月下旬～2月上旬	2月中旬	4月
	出願・ 第1段階選抜 (書類審査)	第1段階 合格発表	大学入学 共通テスト	第2段階選抜 (戸畑)	合格発表 入学前教育	入学	
	<提出書類> ●調査書 ●課題解決型記述問題 ●活動報告書				●大学入学共通テストの成績 ●課題解決型記述問題 ●グループワーク ●個人面接		

予測不可能なこの時代に可能性を切り拓く“未来の自分”をデザインする入試

未来を創造する3つの「力の素」。

九州工業大学は、1909年の創設以来、社会に求められる優れた技術者を輩出しつづけてきました。大きく変化していく社会の中で、これからも新しい価値を生み出していくためには、一般選抜では評価することが難しい多様な資質・能力を持つ人材を育てていく必要があります。この総合型選抜では、皆さんの持つ様々な力を、時間をかけて多面的・総合的に評価しています。

■これからの社会に求められる人物像とは？



これからの社会に求められるエンジニアとは、グローバルに活躍し続けるためには欠かせない3つの「力の素」を持ち、主体的に思考・表現することで未来を創造していける人材です。

キミの「力の素」を知るための“総合型選抜”

■九工大の総合型選抜のPOINT

POINT 1 高校までを振り返り、なりたい自分がイメージできているかを評価

総合Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）



レポート（第1段階）

大学の講義を視聴しレポートを作成します。「わからないことにも向き合う力」「情報をまとめる力」などを評価します。



学びの計画書（第2段階）

体験してきたこととそこから学んだことを結びつけながら、大学入学後には何をどのように学びたいかを記述します。

総合Ⅱ（大学入学共通テストを課す）



活動報告書

中学卒業以降に授業や検定、部活動、ボランティア活動など取り組んできたことを振り返り、そこで得たものを大学入学後の学びにどう活かそうと考えているかを記述します。活動は賞を取ったものである必要はありません。

POINT 2 他者と協働しながら、ともに高め合おうとする態度を評価

総合Ⅰ・総合Ⅱ共通

総合Ⅰ・Ⅱともに課題解決型記述問題、グループワークと面接を行い、理工系の技術者・研究者に欠かせない「チームで協働する力」「これまでに学んできた知識を応用する力」を評価します。



課題解決型記述問題 第1段階で実施*

小中学校・高等学校で学ぶ算数・数学、理科及び情報の内容をもとにした総合的な問題1つについて、図なども用いて解答します。



グループワーク 第2段階で実施

受験生数名でグループとなり、与えられるテーマについてディスカッションします。他のメンバーの意見を発展させ、グループでの議論を活性化させるため、リーダーシップやフォロワーシップなど、それぞれに役割を果たしているかが評価の対象になります。

※ 昨年度からの一部変更

総合Ⅱの課題解決型記述問題が、第1段階（出願後提出）に移行し配点化します。

総合型選抜

令和8年度の配点

総合Ⅰ	評価項目	第1段階選抜	第2段階選抜
	調査書※1・2	—	—
	レポート※2	100点	20点
	課題解決型記述問題※2	150点	30点
	適性検査(数学、理科、英語)	520点	130点
	学びの計画書※2・3	—	80点
	グループワーク	—	120点
	個人面接	—	100点



総合Ⅱ	評価項目	第1段階選抜	第2段階選抜
	調査書※1・2	100点	—
	活動報告書※1・2	200点	—
	課題解決型記述問題※2・3	100点	—
	大学入学共通テスト	—	1000点
	グループワーク	—	200点
	個人面接	—	300点

※1 出願時提出 ※2 面接にも活用 ※3 出願後提出

VOICE 入学者の声

強みを活かして世界を広げ、様々な学びを!

工学部 機械知能工学科 2年
芦野 太郎 (総合Ⅰ・神奈川県出身)

九工大の特徴として、総合Ⅰ・Ⅱ、学校推薦型選抜、一般選抜といった多様な受験方法が挙げられます。自分の強みや特性に合った入試方法を選べる点が大きな魅力です。私自身、「受験の機会が多い方が良い」という理由もあり、総合Ⅰに挑戦しました。九工大を志望したきっかけは、宇宙工学に強い大学であることでした。

しかし、入学後にさまざまな研究分野を学ぶ中で視野が広がり、現在は別の分野に進むことを考えています。専門的な学びを通じて進路を再考できる柔軟性は、九工大ならではの魅力です。

また、九工大には短期間の海外派遣から長期の交換留学など、多彩な留学プログラムが整っています。私も海外大学とのPBLや共同学習に参加しました。これにより、専門知識だけでなく、国際的な視点やコミュニケーション力も身につけることができました。

0からのスタート!自らの努力で道が拓く

情報工学部 生命化学情報工学科卒(現:生命体工学研究科) 博士前期1年
小河 隆興 (総合Ⅱ・宮崎県出身)

私は最先端の技術を多く持つ魅力に惹かれ、九州工業大学への進学を決めました。九工大ではほとんどの入学者が知識、経験0から始まりです。総合型選抜では0地点からどのように大学生生活を歩むのかを示す必要があり、自分と大学のマッチ度を確かめる意味でも受ける価値があります。私自身もここでの経験が大学生活の方針を決定づけることになりました。

現在大学院に進学し、1つの研究の最先端にいます。最先端とはつまり、目の前は未知であるということです。九工大は生徒に寄り添った学習環境が整えられており、本人の努力次第でこの未知の領域にかようにも対応することができます。そして、ここで培った技量は会社のインターンシップにおいても発揮されます。なりたい人物像があり、努力する方ならば九工大は必ず成長の機会を示してくれます。

挑戦を恐れない勇気が、自分への自信になる!

工学部 電気電子工学科 2年
米倉 彩加 (総合Ⅱ・福岡県出身)

私が総合型選抜の存在を知ったのは、高校の先生の「あなたはこの入試方法に向いている」という紹介からでした。華やかな経歴や経験、工学の専門知識があるわけでもなく、自分には関係ない入試方法だと思っていました。不安になりながらも、少しでもチャンスがあるなら挑戦してみたいという思いで総合型選抜での入試を決意しました。

総合型選抜への入試に向けて胸を張れる経験を積もうと、講座やワークショップに参加しました。工学と関係のないものもありましたが、その時の経験が私の知識を増やし、考え方を豊かにし、人とのコミュニケーションの大切さを学びました。

挑戦することを恐れなければアピールポイントは自分で作ることができます。学業を頑張っているのは、頑張っていると胸を張れることがあり、自信を持っているからだと思います。

総合型選抜への挑戦が将来を考える機会に!

情報工学部 知能情報工学科 4年
江本 茉由莉 (総合Ⅰ・鹿児島県出身)

私は、高校時代に工業に関する専門的な学習をしていたわけでも、明確な夢があるわけでもありませんでした。自分には向いていないと諦めかけましたが、総合型選抜の存在を知り、自分を変えるチャンスだと思い挑戦しました。

色々な研究室の研究内容を調べ、AIに関する本を読んで自分の夢を追究し、講義動画をレポートにまとめる練習を何度もしました。このときの努力がきっかけで自分のやりたいことが明確になり、今では「人と自然な対話をするAI」の研究に携わることを目標に学んでいます。

もともと特別な経験や能力を持っていなくても、受験を通して新しい能力を身につけることができます。総合型選抜に合格するような自分になりたい、という強い意思を持ち、そのための行動ができれば、きっと大丈夫です。

「類」選択と「コース」選択

大学での学びを通して進学するコースを選択することで、進路選択のミスマッチを無くし、社会的ニーズに応えられる人材を育成します。

※以下に掲載している設置計画(改組)は予定であり、記載の名称等は変更となる場合があります。

選抜区分ごとの募集人員は6月頃の公表になります

入試の「類」選択		2年生進級時の「コース」選択	
入学類	募集人数(全体)	コース	
工学部	建設社会	68名	●建築コース ●土木コース
	機 械	144名	●機械コース ●制御コース ●宇宙コース
	電 気	127名	●電気コース ●電子コース ●宇宙コース
	物質理工学	138名	●化学コース ●材料コース ●数物コース
	総 合*	54名	●2年次進級時に上記のいずれかのコースに配属されます

※総合類は総合型選抜(総合I)での募集を行いません

情報工学部	知能情報	135名	●データサイエンス・AIコース ●AI・メディア情報学コース ●ソフトウェア情報学コース
	電子情報通信	95名	●情報ネットワークコース ●情報エレクトロニクスコース
	知的システム	95名	●ロボティクス・システム制御コース ●システムデザインコース
	生命情報	85名	●医用工学コース ●環境生命工学コース

※2年次進級時に一部の学生を対象にした「転類コース配属制度」を情報工学部の全類に導入します

Q&A よくある質問

Q 出願に必要な基準等がありますか？

評定や資格等の基準はありません。
合格した場合、入学が確約できる人のみ出願できます。

Q 学校長の推薦が必要ですか？

必要ありません。

Q 適性検査はどのようにして行われますか？

大学で用意したタブレットを用い、選択式問題に解答するものです。

Q 特別な勉強が必要ですか？

特別な勉強は必要ありません。
高校生活全般に積極的に取り組んでください。

Q 学部を超えた類志願とは？

総合型選抜では第1志望と異なる学部の類を第2・3志望に選ぶことができます。
(必ずしも第2・3志望を選ぶ必要はありません)

Q 合格者は、入学までに特別なことをしますか？

総合I・IIの合格者を対象に、オンライン等での入学前教育を実施します。

Q 不合格となった場合、九工大の他の選抜区分に出願できますか？

総合Iで不合格となった場合は本学の総合II、学校推薦型選抜、一般選抜に出願することができます。



国立大学法人
九州工業大学

お問合せ

高大接続センター アドミッションオフィス

TEL 093-884-3218 FAX 093-884-3060
E-mail nyu-admission@jimu.kyutech.ac.jp



2025.02